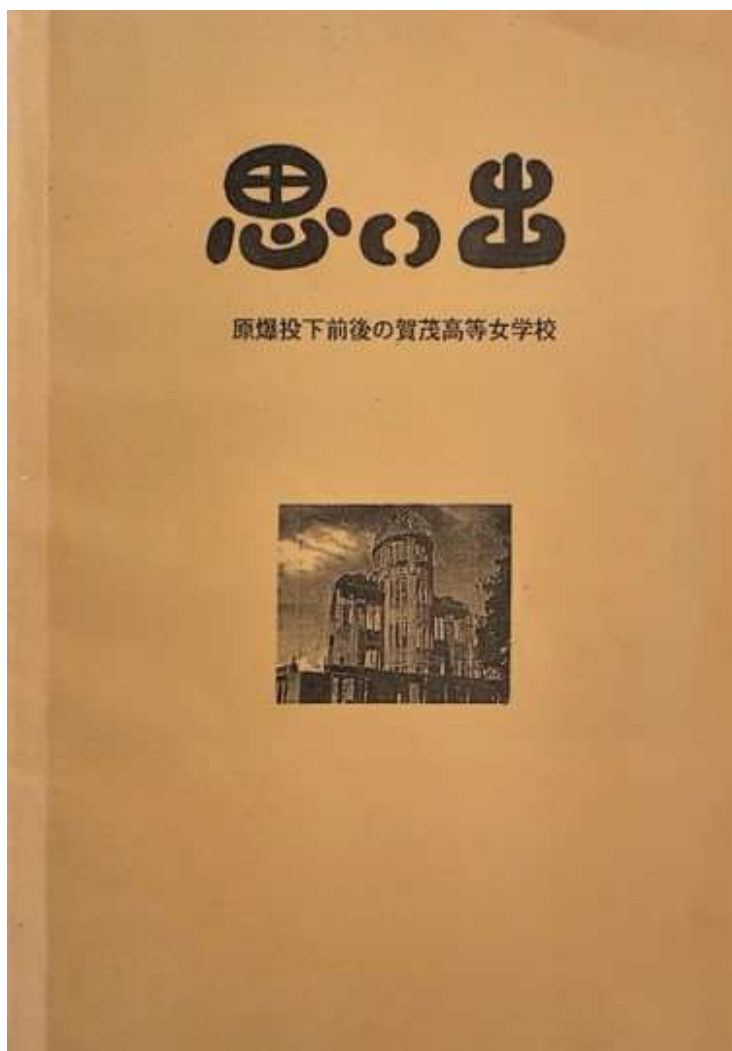


思い出 ～原爆投下前後の賀茂高等女学校～



賀茂高等女学校教諭で、被爆者救護応援隊の引率をされた高崎（岡原）スマ子先生の手記。高崎先生は、戦後も引き続き賀茂高等学校において国語科教諭として勤務（昭和49年定年退職）を続けるかたわら、入市被爆をした女学生の「被爆者健康手帳」取得に係る支援や交付申請の際の証人として活動継続した。